

8月、夏本番。

今年はどうしたことか天候不順で、お盆を挟んで2週間ほど長雨が続きまして。7月に一足早く夏を楽しんでおいて正解です。

25日はIさんのお誕生日。ウナギの寿司に手作りケーキ、豪華に祝います。

Iさんはスピーチ原稿を用意して来られ、奥様が代読。(ご病気のため言葉がうまく出ないため) 職員のダンスもあり、楽しんでいただけたようです。



さて、今月の目標は“夏祭り”。

コロナのため吾も紅の独自開催になりました。(他の事業所は本部で開催、時間をずらして利用者さんが参加することになりました)

当日8月27日。

天候に恵まれ頭上に夏空が広がっています。

吾も紅の面々は朝から大忙し。

全員参加で、山のような野菜を切り、たこ焼きを焼きます。たこ焼きを作っておき、ホットプレートで直前に温めなおして出すのです。

昔屋台をしていたというOさん、手つきが鮮やか! 楽し気に串でクルクル返していました。



午後からは焼きそば作り。切った野菜をいためて、味を付けて…

夕方、ボランティアYさんからカレーの大鍋も届きました。

Yさんは6年前、吾も紅にお母様がいた頃からの付き合いです。

いまだに時々ボランティアで、皆さんの話し相手に来てくださっています。

(コロナのためこの2年はお届け物だけですが)

このカレー、一晩煮込んだものでお肉はトロトロ、大評判なのです。

夕方の日差しはまだまだ暑く、テントを張る設営部隊は汗だくです。

どうにかこうにか会場が出来上がり、ぼちぼち利用者さんをお迎えにあがります。

18時、デイの人が来られ、お泊りの人は外に出て、皆で輪投げゲーム。

女性職員は浴衣に着替えておもてなし。お祭りムードを盛り上げます。

並んだ屋台は、かき氷、カレー、焼きそば、たこ焼き、ジュース。

皆さん好きなものを選んで食べ、おかわりに並びます。

利用者Y・Sさんはご機嫌でビールを2本も飲んでいました!(3本目は周りに止められていましたが…)



昔ながらの手動のかき氷、職員が汗をかきながら回します。口当たりよく夏にピッタリ。外で食べると気持ちも弾みます。

そうこうしているうちにだんだんと日が陰り、お腹も落ち着きました。

「では皆さん盆踊りを始めます、どうぞご参加ください」

うちわが配られ、炭坑節の音楽に合わせて、踊りの輪ができました。

見よう見まねで古いも若きも加わります。眺める人たちも和やかです。



楽しい宴も終わりに近づいて、夏の空がいい具合に紺に染まってきた頃、

「ではしめくくりの花火です」

皆さんに手持ちの花火が配られました。

「花火なんて何年ぶりだろう」

皆さん口々に、でも花火を持つ手はそわそわして嬉しそう。

「わあ、綺麗!」「意外と長持ちするなあ」「こっちも綺麗」

皆さん、童心に帰ってはしゃぎます。



2, 3回終わったところで色々な吹上げ花火も行いました。吹き上げられる幻想的な光と色に皆さん目を奪われます。

「最後は打ち上げ花火ですよ!」

花火担当のUさん、こわごわ火をつけます…がなかなか打ちあがらず。

「おかしいなあ」待つこと3分、結局しけっていたのか“打ちあがらず”花火となりました。代わりにもう一度吹上げ花火を見ておひらきに。

「楽しかった～」

余韻に浸りながら皆さん帰路につきました。

少々千鳥足のY/Sさん。大丈夫かな?

またひとつ、素敵な思い出ができた夏の一日でした。

